

私たち、帰ってきました

～ Uターンの先輩をご紹介～



ダンスインストラクター
居神 光洋 さん

居神さんのおばあさんの家が上下にあったことから
移住したいいわゆる「孫ターン」。京都市から2022年に移住。

京都・東京・名古屋と、常に大都市での生活を送っていた居神さん。「田舎での生活を試してみたい」と思ったのがきっかけで、最初は3カ月間だけのつもりで府中市にやってきました。

ダンスサークルUp&Downを立ち上げる

生活が続ける中で、ダンスをしたい人がいるという話を聞き、「試しにダンスサークルを始めてみよう」と思い立たれました。現在では子どもから大人まで30人以上が参加しています。都会ではありふれていても、上下町では珍しく、必要とされていると気づいたそうです。



クリエイター
中西 充彦 さん



一般企業を退職してから、海外の旅を繰り返した後2019年にUターン。

府中市のものづくり企業にひかれて

たまたま地元に戻った際に、地元家具会社の方から工場見学イベント運営のお誘いがあったといいます。ものづくり企業の発信を手伝うようになり、さらに府中のものづくりの面白さに気づいたとのこと。継続的に関わるようになり、その後も住み続け、今に至るそうです。

ときには仕事を
羽高湖キャンプ場で



溝口 友基 さん
溝口 苑子 さん

2019年に友基さんの地元である府中市にUターン。

3年間の東京生活を経て、都市で子育てをするよりも、いわゆる「田舎」での子育てをしたいという思いからUターン。

子どもと遊ぶ友基さん▶

気の合うコミュニティに出会うのが鍵

お二人とも仕事を通じて人に出会い、気の合うコミュニティに入ることができ、プライベートも含めて充実したといいます。自身も、新しく府中に住む人が入り込めるコミュニティの中心になっていきたいという思いも持っているとのこと。



あなたが、いてくれたから ——



上下スタイル
代表 眞野 順子 さん

Q. お二人の仲は何をきっかけに深まったのでしょうか？
眞野さん お子さんと一緒に歩いているところに声をかけさせてもらったんです。ちょうど地域おこし協力隊の方々のイベントの帰り道のことでした。「何かイベントがあったら一緒にやってみませんか？」とお誘いしてみました。どこか参加したいと思っていたようにも見えましたから、柏木さん もう本当にありがたかったです。最初に出店したフリマのイベントも本当に楽しかった。
眞野さん 実は私も名古屋からの移住者なので、初めこちにきたとき戸惑いがあったんです。ある意味、主人だけが私の友達だったというか（笑）そんな中で私もいい出会いがあったって色々楽しめるようになったんです。だから似た境遇の人には、ここにいてよかったと思ってほしいんですよ。

柏木さん 私も講師をやらせていただいてすごく勉強になりました。順子さんのお知り合いにもお教えする機会があって、またそこでつながりも増えましたね。
眞野さん 観光関連の説明会も一緒に来てもらうこともあるし、お互いフリーランスということもあって本当に何でも話しちゃいますね。「柏木さんだから」話すこともたくさんあります。
柏木さん 時間を気にしなかったら一晩中話せると思いますよ（笑）
Q. お二人は世代が離れておられますが、本当に仲が良いんですね。
柏木さん 年代を越えて友達になれるのって最高だと思いませんか？特に順子さんは卒にとらわれないというか、色々な年代の方とお友達ですよ。

眞野さん 若い世代の人とお話しする機会がたくさんありますよ。一緒に話す未来の話がすごく刺激的でワクワクして。

柏木さん 都会より人が少ないからこそ見つけられるというか、同じ価値観の人が見つけれやすい場所ですよ。順子さんみたいな素敵な人もいらっしやるし、初めの一歩を踏み出せば、そんな人と繋がる場所ですよ。

あなたの帰る場所は、ここ府中市にあります。